

問1	北海道には「稚内（わっかない）」や「室蘭（むろらん）」など、特徴的な響きを持つ地名が多く存在します。これらの地名は、北海道やその周辺諸島に古くから住み、独自の言語や文化を築いてきた先住民の言葉に由来しています。この人々の名称として正しいものを選びなさい。 （2016年 群馬県公立入試 類似）			
	1. 防人	2. アイヌ	3. 屯田兵	4. えみし
問2	北海道の工業は、広大な農地で生産された農産物や、豊かな海でとれた水産物を原料とする分野が盛んです。2010年の製造品出荷額の内訳において、金属工業（13.9%）や化学工業（21.1%）を上回り、35.7%を占めて最大部門となっている工業の種類として、最も適切なものを選びなさい。 （2016年 大分県公立入試 類似）			
	1. 化学工業	2. 食品工業	3. 機械工業	4. 金属工業
問3	日本の乳牛飼育において、飲用として出荷される牛乳の生産地が、千葉県、神奈川県、愛知県といった大都市の周辺に多く見られる理由として、最も適切な説明はどれですか。 （2022年 埼玉県公立入試 類似）			
	1. 大都市の周辺は北海道に比べて土地代が安く、乳牛を放牧するための広大な土地を確保しやすい環境にある。	2. 飲用牛乳は加工用生乳に比べて重量が軽く、輸送コストがほとんどかからないため、あえて都市部で生産されている。	3. 法律によって、飲用牛乳は消費地と同じ地方自治体の中で生産・処理しなければならないと定められている。	4. 飲用牛乳は加工品に比べて製品の鮮度を保つことが重視されるため、大消費地に近接した地域で生産されている。
問4	日本の都道府県の配置において、最北端に位置する北海道は、新潟県や鹿児島県といった他の地域と比較して特有の自然環境を有しています。北海道の大部分を占める気候帯の背景や仕組みについて述べた文として、正しいものを選びなさい。 （2024年 徳島県公立入試 類似）			
	1. 周囲を海に囲まれているため、本州の山梨県などの内陸部よりも夏は暑い。	2. 日本海を流れる暖流の影響を強く受けるため、冬でも比較的温暖である。	3. 高緯度に位置するため冬の寒さが厳しく、年間の気温差が非常に大きい。	4. 季節風の影響で一年中雨や雪が多く、夏と冬の気温差がほとんどない。
問5	かつての石狩平野の自然環境と、その土地で行われた開発の背景について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 （2021年 神奈川県公立入試 類似）			
	1. 海岸近くの浅瀬を堤防で囲んで干し上げた土地であったため、塩害を防ぐための用水路整備を優先した。	2. 植物の遺体が分解されずに堆積した農業に適さない湿地帯であったため、排水や客土による土地改良を行った。	3. サンゴ礁が隆起してできた保水力のない土地であったため、地下ダムを建設して農業用水を確保した。	4. 火山噴出物が堆積した水はけの良すぎる土地であったため、大規模なかんがい施設を整備して畑作を行った。
問6	札幌市中心部を描いた2万5千分の1の地形図において、JR札幌駅から札幌市役所（地点B）までの図上の長さを測定したところ、ちょうど3cmであった。このとき、これら2地点間の実際の距離として適切なものはどれか。 （2021年 茨城県公立入試 類似）			
	1. 750m	2. 500m	3. 250m	4. 1000m
問7	十勝平野における大規模な畑作では、同じ耕地において数年周期で栽培する作物を変える工夫がなされています。このような栽培方法を取り入れている理由として、最も適切な説明はどれですか。 （2024年 滋賀県公立入試 類似）			
	1. 政府による米の生産調整に対応するため、もともと水田だった土地を畑に作り変えて別の作物を栽培するため	2. 冬の積雪期間を有効に活用して、同じ土地から一年のうちに二度の収穫を行い、農家の所得を増やすため	3. 特定の作物を連続して栽培することで起こる連作障害を防ぎ、土地が持つ生産力である地力を維持するため	4. 冷害による被害を最小限に抑えるため、寒さに強い作物だけを特定の広い区画に集めて単一栽培するため
問8	北海道では、サケの稚魚を人工的に育ててから川へ放流する取り組みが盛んに行われています。このような、自然の再生産能力を補い、水産資源を維持・増大させるために行われる「栽培漁業」の仕組みとして、最も適切な説明はどれですか。 （2019年 岡山県公立入試 類似）			
	1. 卵からかえした稚魚を、自力で生き抜く力がつくまで育ててから放流し、成長後に漁獲する。	2. 大型の漁船を用いて遠くの公海まで出向き、回遊している魚を網で一度に大量に漁獲する。	3. 海岸近くの浅瀬に産卵場所を人工的に作り、自然に卵が孵化して育つのを待ってから漁獲する。	4. 海の一部を網などで囲った生け簀（いけす）の中で、稚魚から成魚になるまで餌を与えて育てる。
問9	世界自然遺産である知床半島において、エコツーリズムを推進するために設置されている「高架木道」について、地面から高く浮かせて設置されている理由として最も適切な説明はどれですか。 （2021年 熊本県公立入試 類似）			
	1. 地熱による木材の腐敗を防止し、メンテナンスにかかる費用を最小限に抑えるため	2. 森林火災が発生した際に、木道が防火帯として機能し、延焼を食い止めるやすくなるため	3. 冬の間に降り積もる深い雪に道が埋もれないようにし、一年を通じて観光を可能にするため	4. 歩行者が地面の植物を踏みつけるのを防ぎ、かつヒグマなどの野生動物との距離を保つため
問10	北海道の北東側に位置する海域では、冬季になるとシベリア沿岸から流れてきた氷が接岸し、一面が白く覆われる光景が見られます。この海域の名称と、押し寄せる氷の名称の組み合わせとして正しいものはどれですか。 （2018年 山形県公立入試 類似）			
	1. オホーツク海 ― 樹氷	2. 日本海 ― 流氷	3. 太平洋 ― 樹氷	4. オホーツク海 ― 流氷
問11	北海道における外国人宿泊客数の月別統計を見ると、1月から3月にかけての時期に数値が大きく上昇するという特色があります。この時期に観光客が多く訪れる理由として、最も適切な説明はどれですか。 （2021年 茨城県公立入試 類似）			
	1. パウダースノーと呼ばれる良質な雪でのスキーや、雪まつりなどの行事を目的に訪れるため。	2. 秋の紅葉シーズンに合わせ、新幹線を利用して広大な農地の収穫風景を見学に来るため。	3. 本州よりも早く開花するサクラの鑑賞や、春の大型連休を利用した旅行者が増えるため。	4. 梅雨がなく、ラベンダーなどの花々が満開になる夏の涼しい気候を避暑目的で好むため。
問12	日本の北端に位置する北海道地方は、本州の大部分とは異なる気候の特色を持っています。夏は短く涼しい一方で、冬の寒さが非常に厳しく、季節による気温差が大きくなるこの気候帯の名称を、次の中から選びなさい。 （2024年 徳島県公立入試 類似）			
	1. 温暖湿潤気候	2. 亜寒帯（冷帯）	3. ツンドラ気候	4. 西岸海洋性気候